

選手の皆さんへエール！



粘り強く、諦めないことを学びました

吾孺二中 ニュースレター

墨田区立吾孺第二中学校

令和3年9月1日
校長 駒田 るみ子

地域・保護者の皆様、いつもご支援・ご協力ありがとうございます。今季もどうぞよろしく願いいたします。

9月1日は防災の日

講師に伊藤英司様を招いて、感染対策をしつつ地域別下校訓練を行いました。9月3日には本校にて防災拠点会議も行います。これからも地域と連携して防災に努めて参ります。

オリンピック・パラリンピックから学ぶ

生徒達が講演を聞いた北菌選手の事故による欠場、墨田区出身の新体操の横田選手の直前のけが。お二人とも転んだとき、つまずいたときに、私達がどう立ち上がればよいのかを教えてくださいました。金メダルだけではないアスリート達の輝きがあり深く感動しました。ご家庭でも今一度振り返って、心に残ったシーンなどについて話題にしてみてください。

不審者対応訓練7月12日



学校では実に様々な安全教育に取り組んでいます。7月12日は向島警察署からお二人のご協力を得まして、不審者対応の訓練を行いました。写真は教職員の対応訓練の様子です。教室では生徒達もバリケードを作る等の訓練を行いました。双方とも大変真剣でした。

「電子音アラームよりも家族の声」

校長 駒田 るみ子

8月25日の「天声人語」にこんな記事を見つけました。

滋賀大の大平教授の研究で小学生がどんな音に反応して起きるかというもの。以下抜粋「電子音だと130秒。それぞれの母親にあらかじめ録音してもらった声だと31秒。見知らぬ女性の声だと26秒。二つの声は統計学上誤差の範囲内にあった。▼いつものアラーム音がここまでふるわないとは。「音より声、声より名の方がインパクトが大きいとわかりました」と大平さん。父親の声であれ、声優の声であれ、同様の結論が…中略…「いつまで寝てるの」「いい加減に起きて」は一律に封印をお願いしたそうだ。…中略…電子音の十倍効きますから。」と結ばれている。

皆さんは朝、どんなふう起きていますか？もちろん起こされたりせずに、自分自身で、という生徒さん多いんじゃないでしょうか。けれど、長い夏休みの後は学校が始まるのを楽しみにしていた生徒達でさえも、朝は苦痛のようです。この記事にあるように、たくさんの目覚まし時計の電子音よりもご家族の声で名前を呼ばれる方が、スムーズな朝の始まりとなるというのは意外なようで、当たり前なのかもしれません。電子音よりもご家族の声の方が、子供にとっては大事な音なのでしょう。

思えば、子供たちを取り巻くものは目覚ましだけでなく、いろいろな場面で同様のことが言えると思います。「手当てをする」という言葉がありますが、文字通り「患部に手を当てて安心感を与える」のは、治療の第一です。

人の声や、手の温もり、赤ペンで直した直筆の文字など、子供たちが求めているもの、飢えているものを、しっかりと見落とさない教育を、これまで同様にこれからもやっつけていこうと考えています。便利なものがあふれている中で、教師として見失うものがあってはならないと、肝に銘じる記事でした。



吾孺二中のホームページです。ご活用ください。↑
オンライン授業についても ご案内しております。

AWARD-WINNING

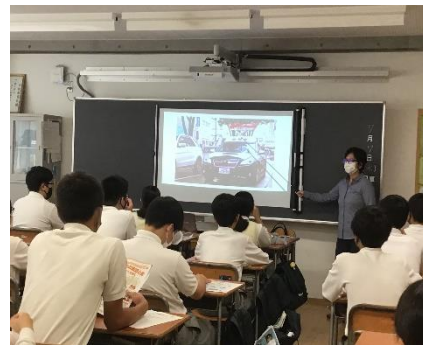
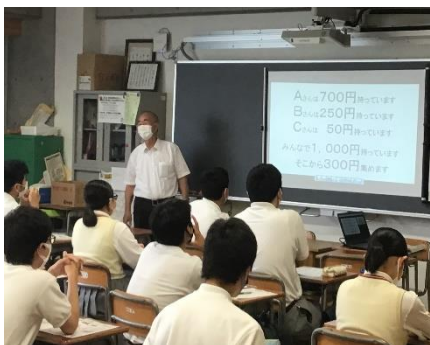
| | | |
|--------------|---------------|--------|
| 野球部 | 夏季総合体育大会 | 第三位 |
| 硬式テニス | 夏季総合体育大会 | 関東大会出場 |
| ソフトテニス部 | 墨田区民大会 | 第三位 |
| | 墨田区民大会 | 第三位 |
| 関東中学校水泳競技大会 | 男子 100M バタフライ | 第五位 |
| 東京都中学校総合体育大会 | 男子 100M バタフライ | 第五位 |



○ SOS の出し方及び薬物乱用防止教室

7月に SOS の出し方の授業を行いました。悩みを抱えた時の訴え方や、友人への声のかけ方などを学びました。

又、薬物乱用防止教室では、薬物の恐ろしさや誘われた時の断り方を学び、とても参考になりました。



○ 3年租税教室

7月7日(水)5時間目に向島税務署税理士会の方を講師に迎えて租税教室を開きました。

税金の使われ方を詳しく説明していただき、よく理解することができました。

○ 夏季パワーアップ教室

7月26日(月)から30日(金)の5日間夏季パワーアップ教室を開きました。各学年とも50名以上の生徒が参加して、自分の弱点や苦手な部分を克服しようと、前向きに学習に取り組む姿がたくさん見受けられました。



○ パラリンピック 北園選手への応援

6月25日(金)に本校で行われた人権・オリパラ講演会で講師を務めて頂いた北園 新光選手が8月に東京2020パラリンピック競技大会視覚障害者柔道日本代表に選出されました。その報告を受けて、本校でも生徒達から応援メッセージをご本人へ送付させて頂きました。

事故により3度目のパラリンピック出場は叶いませんでしたが、北園選手の一日も早いご快復を心からお祈り申し上げます。吾婦二中は北園選手から学んだ3つのこと、

①今精一杯努力する②理想の自分に向けて努力する③仲間を大切にする を実践して、これからも応援し続けます。

